

令和5年7月19日



琴中だより

(第13号)

倉敷市立琴浦中学校

明日から夏休み！～機会（チャンス）がたっぷりの36日間～

いよいよ明日から夏休みです。「しっかり楽しんでほしいなあ。」と思います。この36日間には、自分の意思で自分の過ごし方を決められる機会がたっぷりです。「どういう楽しみ方をするか」についても、自分自身の考えに委ねられる機会がたっぷりです。今まで学んできたこと、こんな将来にしたいなど思い描いていることを大切に、自分を伸ばす、有意義な夏休みにしてください。「楽しむ」と「楽（ラク）」は違います。

8月25日（金）に、全員元気で、素敵な笑顔に会えることを楽しみにしています。

ある私立高等学校説明会でのお話

夏休み中には、多くの公立高等学校でオープンスクールが開催されます。それに先駆けて、先日、ある私立高等学校の説明会に参加することができ、印象に残るお話を伺いました。

①総合型選抜を実施する大学が80%を超えた！

日本には、国公立・私立で790ほど大学があるが、そのほとんどで総合型選抜が行われている。

「総合型選抜」＝志望理由書・調査書等の書類審査、面接、小論文の他に、プレゼンテーション、グループディスカッション、フィールドワークなどを課して、各大学の掲げる「アドミッションポリシー」に合う人材かどうかを総合的に判定する。

ペーパーテストだけじゃないんだ？!

国立大学では、共通テストを課すところが多い。

いい大学からいい企業へは、もう古い?!

②この高校の令和4年度求人件数は、1,200件もあった！

令和4年度の就職希望者は約150名だったので、有効求人倍率は約8倍！驚異の売り手市場。

（“4年制大学卒業後に就職するのは至難の業”と思われる企業からの求人もたくさんある。）

③社会人として仕事に取り組むには、例えば、他人の力を借りずにカリキュラムをこなすことができる力、グループでの実習を円滑に行うことができる力が必要である。

自分一人でするように、だいたい声を掛け合う、とか...

中学校よりもっと社会の入り口に近い高等学校の先生から、生々しいお話を伺って大いに刺激を受けました。オープンスクールは、Webで個人が直接高等学校に申し込みます。夏休み中に、ちょっと時間を工夫して、中学校の早い段階から参加してみたいかでしょうか。これからの自分のことを考えるヒントを得られるかもしれません。

特に3年生は、中学校卒業後の進路について、自分の考えを、より具体的に表明しなければならぬ時期が近づいています。「進みたいなあ」と思っているところに、夏休みを上手にを使って、“リハーサル登校”や“疑似出勤”してみるのもよいことだと思います。

受験の時は、すべて現地集合です！

三者懇談、ありがとうございました

7月13日（木）・14日（金）に、三者懇談を実施しました。1学期の学校での生活・学習の様子をお話し、夏休みの過ごし方についても、担任と情報交換していただきました。子どもの健やかな成長をご家庭と学校が協力して支えていきたいと思っています。暑い中、ありがとうございました。